


# たが

2014年8月(第142号)

こんにちは   
議会です!!

(滋賀県多賀町)



多賀中 体育大会(6月14日)  
～1年生は初めて体験する大きな行事  
大縄跳び、気合いを入れて、心を1つに～

- ・ 6月定例議会 …………… 2
- ・ 町長の行政報告 …………… 4
- ・ 委員会審議 …………… 5
- ・ 町政を問う(一般質問) …………… 9
- ・ お知らせ …………… 15
- ・ たが いいところ 再発見!! …… 16

# 防災・教育の 新たな事業を審査

## 6月定例議会

6月定例議会は、6月6日から6月20日までの15日間の会期で開催した。  
町長の行政報告、予算3件、条例4件、承認9件、同意7件、推薦1件、報告4件、請負契約2件を審査し、可決した。

### 予算

#### 26年度補正

◎一般会計（第1号）  
8537万円増

#### ◎特別会計

・ 芹谷栗栖地域振興事業 1806万円増  
・ 下水道事業 185万円増

### 条例改正

・ 消防センター設置管理条例  
藤瀬と芹谷の消防センターを追加するもの。

### 専決処分

#### 25年度補正

◎一般会計  
7033万円増

#### ◎特別会計

・ 国民健康保険事業 2179万円減  
・ 後期高齢者医療事業 380万円減  
・ 介護保険事業 1703万円減  
・ 芹谷栗栖地域振興事業 3630万円減

### 同意

#### ◎多賀財産区委員

森口 政二氏  
前川 貢氏

#### ◎霊仙財産区委員

藤井 金一郎氏  
宮下 重和氏  
大久保 孝蔵氏  
上山 章雄氏  
垣立 繁幸氏

### 推せん

#### ◎農業委員

喜多 喜代美氏  
土田 はるみ氏  
栗本 泉氏

### 報告

#### ◎緑越事業

◎一般会計の事業  
4億4428万円

#### 主な事業

・ 小学校非常階段工事  
・ 高取山ふれあい公園宿泊体験施設第2期工事  
・ かいぜ寮修繕事業補助  
・ 芹谷消防センター整備

### 請負契約

#### ◎急傾斜地崩壊対策工事

（八重練地区）  
・ 請負者 岡興業  
・ 金額 7398万円

#### ◎小中学校ICT整備工事

・ 請負者 藤野商事株  
・ 金額 6336万円

#### ※契約議決

5千万円を超える契約は、議会の承認を必要とします。

特別会計の事業  
・ 芹谷栗栖地域振興事業 1億3424万円  
・ 水道事業 9707万円



八重練地区(急傾斜)工事

# 補正予算 8537万円を審議



**子育て支援対策費**  
(児童や保護者)へのカウンセラー  
475万円



**ふるさと納税制度**  
(寄附者へのお礼品など)  
409万円



**あけぼのパーク**  
空調設備改修工事費  
2,300万円



**農業経営支援**  
(コンバイン)補助金  
235万円



**中学生海外派遣**  
(ニュージーランド)追加費  
264万円



**地域ふれあい交流**  
(川相生活改善センター)  
380万円

# 住みやすい まちづくりを



血圧計で健康管理

## 予算特別委員会

予算特別委員会は、6月13日に開催され、6月定例議会で付託を受けた予算1件を審査し、可決すべきものとした。

### 予算

26年度補正

一般会計(第1号)

8537万円(増)

#### 主な事業

- ・ふるさと納税記念品 409万円
- ・介護予防事業(川相) 380万円
- ・地域サロン備品設置 197万円
- ・子育て支援対策費 475万円
- ・施設補修工事(ふれあいの郷 外壁) 150万円
- ・(あけぼのパーク空調) 2300万円
- ・小水力発電修理費 17万円
- ・農業経営体育成支援 235万円
- ・林道補修工事(権現谷) 598万円
- ・治山工事(八重練) 615万円
- ・中学生海外派遣事業 264万円
- ・道路改良工事(久徳中川原線) 2800万円
- ・まちづくり基金積立 585万円

(減額分は記載していません)

## 町長の行政報告



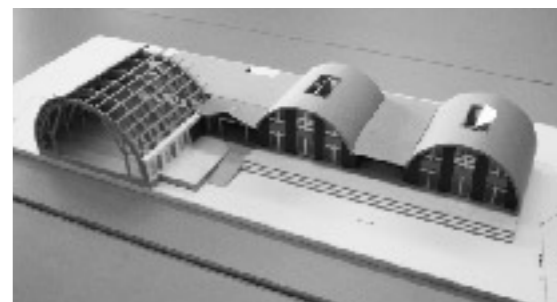
町道小森池線 開通(5/26)



グラウンドゴルフ場オープン(6/1)



芹谷地域消防センター



体験宿泊施設第2期工事模型図



中央公民館基金へ積み立て



「多賀町の予算」冊子を全戸配布

### 総務課所管

「多賀町の予算」を全戸配布した。町政への理解と協力を求めていく。

- ・芹谷地域消防センターを7月中旬に完成させ、この地域の防災体制を強化する。

### 企画課所管

- ・まちづくり活動支援交付金事業は2年目に入った。集落計画書に基づく活動を支援していく。
- ・空き家対策として、八重練地区で改修をした。学生のシェアハウスに活用できないか議論している。
- ・絵馬通りの道路整備は、今年度に基本設計に取り組む。
- ・湖東定住自立圏の取り組みは、今年度で5年間の協定期間が終了する。次年度以降の協定変更の協議を1市4町で進めている。

### 福祉保健課所管

- ・介護予防教室は、参加者が増えたため、川相会場での開催日を週2回に増やした。高齢者の健康づくりに役立てる。
- ・子育て世帯への消費税率引き上げの影響を緩和するため、国が臨時特別給付金の支給を始める。町でも申請の受付をする。

### 地域整備課所管

- ・町道小森池線が5月に供用開始となった。物流や地域振興に役立てたい。
- ・町道久徳中川原線は橋梁の上部工事と国道306号までの100mの工事を予定している。
- ・橋の補修工事は今年度八重練高橋、霜ヶ原高橋、菅原鎮守橋の調査設計をする。

### 産業環境課所管

- ・粗大ゴミの回収時に、使用済み小型家電が約6トン回収された。金属類とは別に試験回収した。
- ・多賀の特産物として、そば、ニンジンの販路拡大に努める。多賀産ブランドを拡大するための協議会設立を検討している。
- ・鳥獣害対策としてニホンザルの捕獲に向けて準備している。

### 教育委員会所管

- ・ICT機器を小中学校に整備し、情報活用能力の育成を図る。
- ・中学生海外派遣事業では、14人の生徒を8月に10日間ニューギランドへ派遣する。広い視野を持った人材育成に努める。
- ・グラウンドゴルフ場が6月に滝の宮スポーツ公園内にオープンした。多くの方に利用してもらえよう周知に努める。

### 質疑の主なもの

#### 総務課所管

問 ふるさと納税の内訳は。

答 全国から約600人、585万円の寄付を見込んでいる。

問 記念品代の内訳は。

答 5千円の寄付は2千円程度、1万円の寄付は5千円程度の記念品を贈っている。町のPRも兼ねている。

#### 産業環境課所管

問 農業経営の効率化策は。

答 県は農地中間管理機構を設置し、農地利用の集約化をすすめる。

#### 福祉保健課所管

問 臨時福祉給付金の対象者は。

答 消費税率の変更に対応する措置で、町民税の非課税者が対象。

#### 地域整備課所管

問 小水力発電の現状は。流速が安定していないので装置に故障が生じている。水量が安定している河内風穴からの谷を、次の候補地として検討している。



小水力発電ピコピコ

#### 福祉保健課所管

問 ふれあいの郷補修工事の内容は。

答 経年劣化による外壁タイルの補修である。

#### 教育委員会所管

問 中学生の海外派遣先は。個人負担はあるのか。

答 派遣先はニューギランドである。1人あたりの個人負担は、20万円である。

#### 産業環境課所管

問 地域サロン備品設置の内容は。

答 健康づくり、居場所づくりを推進するサロンに対し、血圧計、イスなどの備品を設置する。

#### 地域整備課所管

問 道路改良の箇所は。

答 久徳中川原線である。年度内の完成をめざす。



建設中の下水谷集会所

# 安全・安心な道路整備を

## 産業建設常任委員会

5月2日、委員会を開催し、地域整備課所管について調査した。今年度事業（県、町事業）を現地視察し、説明を受けた。

### 県事業

**質疑の主なもの**  
**問** 治水対策は。  
**答** 芹川では、護岸の災害復旧工事を急ぐ。犬上川では、川相合流点付近の浚渫を予定している。

### 町事業

#### 質疑の主なもの

**問** 町道小森池線と国道306号との交差点に信号機を設置する予定は。  
**答** 設置の要望を出しているが、26年度での設置はできないと回答があった。

### 芹谷栗栖地域振興事業

（県・町）

#### 質疑の主なもの

**問** 水谷地区での事業は。  
**答** 道路、水道施設、集会所などを整備する。  
**問** 空き家除去は。  
**答** 今年度内にすべて終了する。  
**問** 周辺地域での事業は。  
**答** 栗栖の集会所の駐車場舗装、町道の補修（屏風、甲頭倉）、落石防止擁壁（入谷）である。

### 地域整備課所管事業（箇所付け）

・道路改良工事	月之木・久徳
道路拡幅	藤瀬
擁壁整備	敏満寺
側溝整備	猿木
道路舗装	富之尾
右折溜り拡幅	四手
消雪設備	川相
里道舗装	仏ヶ後
気象システム設置	敏満寺
残土処分地整備	
・交通安全対策	多賀
ゾーン30表示	多賀
転落防止柵	土田・萱原
ガードレール設置	
・急傾斜対策	八重練
擁壁整備	
・災害復旧	河内（中村橋）
護岸復旧	

### 芹谷栗栖地域振興事業

・県事業	水谷
道路改良	栗栖ほか
道路改良	河内
災害復旧	水谷（峰ヶ谷川）
砂防	河内（芹川）
浚渫	
・町事業	水谷・栗栖
集会所整備	甲頭倉・屏風
町道改良	水谷
地域おこし協力隊事業	
・県事業	
・道路改良	
路線測量	多賀（国道307号線）
路線測量	佐目（国道306号線）
・河川	
災害復旧	久徳（芹川）
浚渫	川相（犬上川）
・砂防	
堰堤工	佐目（細谷）・萱原（萱原谷）

# 心豊かな教育と健全な育成を

## 総務常任委員会

5月15日、委員会を開催し、教育委員会所管について調査した。教育施設（保育園、幼稚園、小学校、中学校）を現地視察し、現状について説明を受けた。

### 幼児教育

#### 質疑の主なもの

**問** 要望が多い保育の形態は。  
**答** 低年齢児、長時間保育を望まれている。

### 学校教育

#### 質疑の主なもの

**問** 食育の現状は。野菜嫌いや虫歯への対策は。  
**答** 菜園活動や給食体験を実施している。食後は全員が歯磨きをして虫歯の数は減ってきている。  
**問** 防災・防犯対策は。  
**答** 防災頭巾を配布する。防犯カメラの設置もすすめている。  
**問** 全国学力テストの結果と対策は。  
**答** 小学6年生と中学3年生に対して実施された。結果はまだ出ていない。教員の人的配置も予算計上している。ICT機器を活用して学力向上を図る。細やかな指導をめざす。

### 生涯学習

#### 質疑の主なもの

**問** 学校と博物館の連携は。  
**答** 古代ソウの発掘プロジェクト、親子化石発掘体験、標本整理などのイベントを通じて、小中学校の理科教育を支援していく。  
**問** ICT教育とは。  
**答** パソコンなどを効果的に活用し、児童・生徒の学力向上につなげる。

### 園児・児童・生徒数（4月現在）

・保育園	ささゆり保育園	160人
	たきのみや保育園	23人
・幼稚園	多賀幼稚園	46人
	大滝幼稚園	12人
・小学校	多賀小学校	332人
	大滝小学校	77人
・中学校	多賀中学校	206人



多賀中学校 英語の授業風景



多賀小学校 授業視察

6月定例議会では10人が登壇し、町政の将来を見据えて、一般質問を行った。

- 1 北川久二…………… P10  
中央公民館の建設は  
家屋耐震化の取り組みは

---

- 2 富永 勉…………… P10  
グラウンドゴルフ場に屋根付きの休憩所を  
小中学生のいじめは

---

- 3 川添 武史…………… P11  
国体の競技会場を町内施設へ  
生活困窮者自立支援制度は  
繰越明許費は

---

- 4 田畑喜久弘…………… P11  
わが町はどうなるのか  
国道306号再開通見通しは

---

- 5 大橋 富造…………… P12  
子育て支援策の拡充を

---

- 6 山口久男…………… P12  
学童保育の拡充は  
人口減少を防ぐ定住化対策は  
中学生の通学にスクールバスを  
危険な交差点の交通安全策は  
AEDの設置は  
集団的自衛権への見解は

---

- 7 竹内 薫…………… P13  
町営施設の安全点検は  
指定管理者制度の導入と効果は

---

- 8 川岸 真喜…………… P13  
地域キャラクターの着ぐるみ化は  
こどもデイサービスの開設を

---

- 9 深田 治夫…………… P14  
2つの町道の接続は

---

- 10 原田 亀雄…………… P14  
遊休資産の運用は  
集落の祭りをまちづくりの中心に

# 6月定例議会

# 町政を問う

## 一般質問は10人が質問

# ダム対策特別委員会

## 県は27年度に事業完了をめざす



現地視察(屏風地先)

5月23日、委員会を開催し、県の芹谷地域振興事務所所管について説明を受け、現地視察した。

### 県事業

#### 質疑の主なもの

**問** 県道水谷彦根線の工事内容と進捗は。  
**答** 上水谷はバイパスとなり、下水谷は現道拡幅となる。バイパスの進捗率は33%である。27年度の完成をめざす。

**問** 県道多賀醒井線の待避所は。  
**答** この県道は1.5車線になり、待避所を300mに1カ所つくる計画

**問** 湖東管内にはまだ設置できていない。  
**答** 「水害に強い地域づくり協議会」の構成メンバーは。

**問** 芹谷振興事務所は27年度末で一旦解散となる。事業が残った場合はどうするのか。  
**答** 湖東土木事務所が引き継ぎ、事業を進める。

**問** 昨年の大型台風での被害から、芹川全体の治水対策を見直すべきでは。  
**答** 県は平成20年に河川方針を作成し、30年対応の改修事業を完了した。芹川河口では、堆積による閉塞が進んでいる。土砂の除去などを彦根市と協議する。

**問** 流域治水の新条例が制定された。具体的な事業は。  
**答** 県では「水害に強い地域づくり協議会」を設置する。

**問** 河川ごとの広い区域ではなく、小規模な地域ごとに設置される。地域の方、学識経験者、行政で構成される。  
**答** 完成するよう努める。

**問** 27年度内にダム対策のすべての事業が完成するのか。  
**答** 完成するよう努める。

**問** 27年度内にダム対策のすべての事業が完成するのか。  
**答** 完成するよう努める。

## 元気いっぱい地域おこし協力隊

### 山下 政満さん

**Q** 多賀を選んだ理由は。  
**A** 自分の夢を実現できる環境だと思います。

**Q** 実際に住んだ感想は。  
**A** 自然が豊かですね。地域の方々の温かい心づかいに感謝します。

**Q** 任期中の目標は。  
**A** 鳥獣害に強い作物を栽培して地域おこしにつなげたいです。



こんにゃくいもの植え付け

**Q** 3Dプリンターを制作しており、起業も考えています。  
**答** 多賀を選んだ理由は、いたので、身近な町でした。観光や自然などの資源も魅力です。

### 谷 涼香さん

**Q** 多賀を選んだ理由は。  
**A** 彦根の大学に通っていたので、身近な町でした。観光や自然などの資源も魅力です。

**Q** 実際に住んだ感想は。  
**A** シカやサルが歩いている光景は驚きでした。集落のみなさんには優しく迎えていただき感謝しています。

**Q** 任期中の目標は。  
**A** 水谷のむらづくりの方向性を自分なりに見つけたいです。



地域の方とおはぎづくり

# 国体の競技会場を町内施設へ 会場には適合しない

—町長—



川添 武史



国体主会場の彦根総合運動場

今年3月に成立した生活困窮者自立支援法は平成27年4月に施行される。

**生活困窮者自立支援制度は**

**町長** 平坦なコースが基本であり、要件が満たないため、国体のグラウンドゴルフ場とはならない事が判明した。

第79回（平成36年度）国民体育大会のメイン会場が彦根の県立総合運動場に決定された。富之尾グラウンドゴルフ場は候補になるか。

社会福祉協議会に事業委託される。今後、事務量の増加が予想されるが大丈夫なのか。

**町長**

県から社会福祉協議会に委託されるもので、この事業に対する事務量が勘案され、必要に応じた人員配置が検討される。

**繰越明許費は**

繰越事業を減らすべきだ。発注が遅いのは。

**町長**

事業の繰り越しは、国や県から有利な財源を確保するための事業の前倒しによるものや、国や県と事業調整する場合に生じるもので、発注の遅れが原因ではない。

繰越明許費とは…翌年度に繰り越して使用することができ、経費。

# わが町はどうなるのか

—企画課長—

## 人口増にむけて取り組む

田畑 喜久弘



「3町消滅？人口減に苦慮」衝撃的見出し記事が、新聞の滋賀版に載った。わが町が対象になったことに対して問題点と施策は。

**企画課長**

突然の記事に驚いている。昨年まで減少し続けていた人口が、今年はずり増え、今年はずり増え、子育て支援や若者定住支援など、取り組みを進めていく。

**国道306号再開通見通しは**

近年の台風で国道306号（三重県側）には大きな被害が発生した。現在、災害復旧工事が進んでいる。三重県側の復旧が望まれる。再開通の見通しは。

**地域整備課長**

三重県側4力所で順次工事中である。今年9月末ごろには完成する予定である。



通行止めが続く鞍掛峠

# 中央公民館の建設は

—町長—

## より安全な施設建設を



北川 久二



中央公民館

拠点避難場所に指定している中央公民館は、築37年が経過する。新たに建設するための基金積立てが現在4億5千万円で、いよいよ建設に向け取り組みがされるが

25年度決算での積立ては可能か。耐震強度は。建設場所は現在地か。

**町長**

新たな中央公民館建設に向け、23年度から積立てし、24年度末で4億5千万円。25年度で1億1千万円を基金へ積立て25年度末の残高は5億6千万円となる。耐震強度については、

**家屋耐震化の取り組みは**

より安全な施設建築をめざす。町の考え方などについて、議会と協議する。

県は3月に、南海トラフ巨大地震発生による被害予測を公表し、県内各地の揺れの強さが見直しされ、本町は震度6弱。

本町での耐震化への取り組みが必要な家屋は、全体戸数の約40%と聞く。耐震診断をされた件数と今後の取り組みは。

**安全・安心なまちづくりを**

**町長**

22年度から25年度末までに16件が耐震診断を受けられ、内1件が補強工事を実施された。町民の生命と財産を守るため、引き続き耐震診断や改修への補助等に取り組み、安全・安心なまちづくりを進める。

# グラウンドゴルフ場に 屋根付き休憩所を 利用者の意見等を踏まえ検討

—町長—

富永 勉



急な天候悪化や熱中症対策などに対処可能な、屋根付き休憩所の考えは。

**町長**

滝の宮グラウンドゴルフ場は、地形の起伏を利用した天然芝や桜・楓の木を残し、2コース16ホールの本格的なコースとして整備した。併せてトイレ・東屋なども整備したが、屋根付き休憩所の設置は利用者の意見を踏まえ検討していく。

**小・中学生のいじめは**

いじめは、一定の人間関係のある者から、心理的・物理的な攻撃を受け、精神的な苦痛を感じることである。現在は無視や携帯によ

る中傷など陰湿化し、気づきにくいいじめが起きている。組織的な体制により、小さなサインも決して見逃さず、過小評価しないことが重要である。

いじめ撲滅に向けた取り組みは。

**いじめ対策専門委員会を設置**

**教育長**

いじめに対しては、保育園・幼稚園、小中学校に指導をしている。多賀町いじめ防止基本方針に基づき、速やかで適切な対応ができるよう努めている。現在、多賀町いじめ問題対策専門委員会の設置に向け進めている。



グラウンドゴルフ楽しくプレー



指定管理 (もんぜん亭)

# 町営施設の安全点検は

## —町長— 安全点検表を作成



竹内 薫

**町長** 園や学校内での子ども  
の事故は絶対に防ぐ必要  
がある。学校ごとに安全  
点検表を作成し、日常点  
検として、各部の腐食や  
変色、亀裂や傷などの確  
認を行っている。  
発見した危険箇所は、  
程度に応じて補修や使用  
中止、立入禁止の応急措  
置を行い、適切に対応し  
ている。

町内には、手すりやマ  
ンホール蓋など、安全点  
検義務のない危険箇所が  
たくさんある。  
不慮の事故を未然に防  
ぐ必要があるが、これら  
の定期点検を実施してい  
るか。

## 町長 専門的な運営により サービスの向上

指定管理をしているの  
は33施設で、ほとんど  
が各字の集会所や広場  
もんぜん亭やフィット  
ネス&カルチャーセン  
ター、多賀公園・四手  
公園では人件費の節減  
や、専門的な運営ノウ  
ハウを生かした運営に  
より利用者へのサービ  
スが向上した。  
効果的で効果的な維持  
管理が期待できる社会  
教育施設などについて  
考えていく。

## 指定管理者制度の 導入と効果は

本町における指定管理  
者制度を導入している  
施設は何件か。また、  
その成果・効果は。  
導入していない施設に  
対して、今後、指定管  
理の考えは。

# 子育て支援策の拡充を

## —町長— 現状維持でいく



大橋 富造

義務教育にもかかわら  
ず、修学旅行費用の大半  
は、保護者が負担してい  
る。廃止する市町村もあ  
るが補助金額に差がある。  
豊郷町は小学校2千円、  
中学校は6千円。甲辰町、  
愛荘町は見直し、豊郷町  
と同額。多賀町は、小学  
校は2千円、中学校35  
00円と見直しされてい  
ない。  
補助金の保護者負担の  
軽減は、  
次年度予算に豊郷町と  
同額は。

**町長** 本町は旅行保険料など  
の負担をしている。現  
状のままですめていく  
現状維持でいく。



大滝小学校 (楽しかった修学旅行)

# 学童保育の拡充は

## —教育次長— 子どもの居場所と 健全育成の改善が必要



山口 久男

対象児童の引き上げは、  
定数80人を超えた場合は  
大滝小学校の送迎体制は  
特別支援学校に通う小  
学生は。  
指導員の処遇改善、人  
材確保、常勤配置基準は

## 人口減少を防ぐ 定住化対策は

**町長** 今後30年間で若者女性  
が半減するとの民間試算  
結果が出た。「多賀町は  
消滅か」との報道記事へ  
の見解と、少子高齢化に  
対応する新たな対策は。  
人口減少の実態を認識

指導員の専門性向上研  
修は。  
保護者学校との連携は  
教育次長  
6年生まで。  
国の基準の1.5倍の面積  
を確保している。受け  
入れ可能。入所基準を  
厳格にする。  
バスによる送迎、指導  
員の同乗。  
可能な限り受け入れる  
が、慎重な判断が必要。  
規定はないが問題ない。  
研修機会を設けている。  
説明会など情報交換を  
行っている。

## 中学生の通学に スクールバスを

3月議会で、中学生の  
通学スクールバスの活  
用をとの質問に対し、  
29人乗りバスが可能かど  
うか検討結果は。

## 危険な交差点の 交通安全対策は

土田南交差点は、踏み  
切りとの距離が短いため  
危険である。安全対策は。

## 教育総務課長

小学校、中学校合わせ  
て33人一緒に乗ることは  
できない。

## 総務課長

点滅から点灯への予告  
信号がない。信号機の切  
り替え時間の調整、変更  
を警察署と協議していく。

## AED設置は

各字への設置補助は。  
公共施設など設置され  
ているが、町民への設  
置場所の周知、取扱講  
習は。

## 福祉保健課長

総務課、企画課の補助  
金を活用していただく  
全体をまとめたものは  
ない。今後検討してい  
く。生涯学習、防災訓  
練、日赤奉仕団などに  
提案したい。

# 地域キャラクターの 着ぐるみ化は

## —産業環境課長— たがゆいちゃんを活用

川岸 真喜



着ぐるみの製造、維持  
使用にかかる経費は。  
たかびー、これっと君  
の着ぐるみ化の計画は。

## 産業環境課長

1体あたり製作に20万  
円、人件費や旅費に年  
間32万円の支出がある。  
収入としては、出演料  
が8万円、グッズの販  
売で46万円がある。  
2体とも地域のイベン  
トにのみ使用される目  
的で作られたため、着  
ぐるみ化して使用する  
計画はない。

## こどもデイサービス の開設を

多賀町には、特別支援

## 社会福祉協議会と 検討

### 町長

町では居場所を提供で  
きていないのが現状であ  
る。町内での事業所の立  
ち上げを研究するよう指  
示をした。

本年、地域福祉計画を  
策定した。事業の担い手  
となる社会福祉協議会の  
事業見直しとあわせて、  
開設の可能性を検討して  
いく。



たがのマスコットキャラクター



建設予定の学童保育施設

# 議員と懇談しませんか？

議会改革特別委員会では、議会の活性化について継続的に検討していますが、このたび、議会活動の充実を図り、皆さまのご理解を得るため、各集落や各種団体の皆さまとの懇談会を開催することになりました。

懇談会は、随時受け付けします。開催日程、場所など、ご相談に応じさせていただきますので、お気軽にご連絡ください。 議会事務局 ☎48-8126 (有線)2-2011



## 議会に対する傍聴者アンケート結果

町議会では、議会改革特別委員会において、6月定例会から、傍聴された皆さまにアンケートのご協力をお願いしています。

その結果をご紹介します。いただいたご意見を踏まえ、議会改革を進めていきます。

- 1. 性別と年齢 男性4人。(60歳代2人。70歳代1人。80歳以上1人。)
- 2. 議会傍聴の経験 今回初めて1人。1~2回1人。3回以上2人。
- 3. 議会傍聴の目的・理由(複数回答有) 議会・町政に関心がある3人。  
今回の議案や質問内容に関心がある2人。議員に誘われた1人。
- 4. 議員の発言内容 よくわかった2人。だいたいわかった2人。

傍聴総数 5人  
回答者 4人  
回答率 80%

- 5. 答弁者(町長、職員)の発言内容 よくわかった1人。だいたいわかった3人。早口の方もおられますが、はっきり、ゆっくり意識して答弁された方が良いと思います。
- 6. 今回、傍聴されて気づいた点 質問者はよく研究している。答弁もよかった。傍聴資料が不足していた。もう少し強く質問されたら。



## 議会を傍聴してみませんか？

### 9月定例会の日程予定

会期	本会議が傍聴できます。
9月5日	5日(金) 9:30~ 議案審議
9月26日 (22日間)	8日(月) 9:30~ 一般質問
	26日(金) 15:00~ 議案審議

日程は変更になる場合があります。 議会事務局 ☎48-8126 (有線)2-2011

## 議会テレビ中継スタート

皆さんの声をお寄せください。

庁舎1階ロビーに設置の大型テレビに、本会議の様子を放映しています。お気軽にお立ち寄りください。また、傍聴アンケートに、皆さんの声をお聞かせください。



要望箇所の航空写真

## 2つの町道の接続は —町長— 交通量の動向を見きわめる

深田 治夫



3月議会での質問にも答弁したが、要望箇所の改良事業については、本町の今後の道路整備計画を十分勘案し、供用開始後の町道小森池線の交通量の動向を見きわめながら検討をしていく。

富之尾からエフベーカーリー前を通ってびわこ東部森林組合の前に通じる道路が必要である。2つの町道を接続する計画は。

## 遊休資産の運用は

—生涯学習課長— —企画課長—

## 資料館は現状維持・SLは今後検討

原田 亀雄



SL公園建設経緯と運用、休業の経緯は。 生涯学習課長 国や県の補助事業で58年に竣工、民俗資料や歴史的資料、展示室などを備え、平成10年あけぼのパーク多賀に図書館と博物館がオープンしたことからは休館した。老朽化のため解体する方向で国と県と協議。補助事業で建設申し合わせにより取り壊し許可が得られないため決定にいたっていない。再利用もあるが、財政を考えるとハードルが高い。

多賀町歴史民俗資料館は 建設経緯と運用、休業の経緯は。 解体経緯と今後の対応は。

所有権は。処分決定の経緯と今後の対応は。 企画課長 昭和57年多賀町観光協会が整備を行う。多賀町観光開発株式会社に委託。5年後に経営不振、昭和56年にハイウエー観光開発に委託、平成5年1月一切の権利放棄。多賀町観光協会に移譲。平成6年12月多賀町と胡宮神社総代との間で土地賃借契約が結ばれ、平成7年に施設は解体した。



歴史民俗資料館

本体温理と維持管理に多額の費用がかかる。 企画課長 譲渡も含め、今後検討する。 集落の祭りをまちづくりの中心に 各集落のまちづくりの集合体がまちづくりにつながる。集落の心をつくる祭りをまちづくりの中心に採りあげては。 教育長 祭りを核として教育を進めることは慎重。 郷土愛、町史編さんのデータ化に役だてては。



# たがいいところ再発見!!

第1回

月之木と南後谷

## 月之木

西島 登喜男さん

Q 集落のいいところは

A 昔から水害なども少なく、農業に適した土地です。

何ごとにも協力しあえる村です。

Q おしよらいとはどんな行事ですか。

A 月之木に伝わる盆行事(先祖供養)です。元はお寺の行事でした。15歳までの男子が芹川の岸辺で松明なまきを焚いて、おしよらいをお迎えします。翌日、大人たちが松明を焚いて、おしよらいを送ります。現在、住民同志の交流の場として盛り上がっています。

## 南後谷

田畑 彰さん

Q 集落のいいところは

A 相互扶助の思いが強く、助け合える関係です。将来を見据え、若者の育成にも力をいれています。

Q どんなむらづくり活動に参加されましたか。

A 平成9年には、むらづくり委員会が立ち上がっています。

南後谷川の豊かな水を活動の中心テーマにしました。翌年、住民の手によりガツタリ(水を利用した精米機)を復元しました。アジサイ、モミジなどを植えて景観美化にも取り組んでいます。



伝統 継承



ガツタリ



あじさいの植栽



議会広報 常任委員会

新メンバーになりました どうぞよろしく。

- 委員長 田畑喜久弘
- 委員 北川 久二
- 委員 菅森 照雄
- 委員長 川岸 真喜

はじめまして!

事務局書記の前田です。行政経験をいかしてがんばっています。議会を少しでも身近に感じていただけたらうれしいです。



## 編集後記

議会だよりは、広報常任委員会で編集しています。

自然とロマンあふれる多賀町の魅力と、まちづくりを伝えていきます。

今回の議会だよりか

ら、新たな体制で委員会を進めていきます。

委員一同「読みやすい」「わかりやすい」議会だよりをめざして頑張ります。

ご意見ご要望をお待ちしております。

田畑 喜久弘記

発行 / 多賀町議会  
編集 / 議会広報常任委員会

〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324  
☎0749(48)8126 FAX0749(48)8131  
有線 2-2011

ホームページ http://www.tagatown.jp  
E-mail gikai@town.taga.lg.jp